

お客様インタビュー

今回のお客様は、リオネットセンター宮崎にお越しくださいたい三重野隆さんと奥様の文子さんです。日本一にも輝いたお庭でお話を伺いました。

—素晴らしいお庭ですね。全国花のまちづくりコンクールで日本一に選ばれたそうですが、奥様の趣味ですか？



10年ほど前に主人が脳梗塞で倒れたんです。なんとか一命は取り留めましたが、失語をはじめ、身体機能にも後遺症が残りました。リハビリになればと始めたのがきっかけです。

—ご主人様はそれほどの病気をされたとは思えません。やさしい雰囲気のリラックスさせてくれます。

昔はワンマンでしたよ(笑)。24歳で結婚して大阪に住んでいたんですが、28歳のときにいきなり「宮崎で牧場をやる。」と言われまして。それがなんと引越しの一週間前！

—それはまた急な…。

平成21年夏号

りおめ〜る

自由にお持ちください



聴こえの情報誌

発行元 九州リオン株式会社
営業業務部 092-281-5361

すべてがそんな調子でしたよ。

牧場でベトナム難民を3年間で50人ほどお世話したこともあり、その時も「世話することにしたから」と。頼まれたら断れないんでしょうね。

—奥様はご自宅で文章教室を主催されていますね。

宮崎へ帰郷して、西都の山奥で牧場をし始めたとき、家族以外の会話が激減したんです。だって隣家まで徒歩20分はかかるんですから。

幼少期から文章を書くのが好きだったので、ストレス発散にと書き出したのが始まりでした。その後宮崎市内に引越したので、カルチャースクールの文章講座を探しましたが、見当たらず、それなら自分で作ってしまおうと。

立ち上げ当初は、MRT宮崎放送で『美しい文章の書き方講座』として、作家の城雪穂先生を講師に迎え、書き方のいろはを教わりました。残念ながら先生が体調を崩されたので、その講座は閉講してしまいました。今は先生に教わったことを若い方に伝えようと、自宅で「ペン

ペン草」という文章サークルを主催しています。

—オープンガーデンもされていますから、かなりのお客



さまが出入りされますね。

(ご主人様)妻と生徒さんたちがカリカリと文章を書いている間に、私は花を切つて帰りにお渡ししたり、楽しいですよ。いろんな方とお話できますからね。

—ご主人様が補聴器を着けられたきっかけを教えてください。

テレビの音が大きくなったり、呼びかけても聞こえていなかったりと不自由が出てきたんです。補聴器を着けてと言ったのですが、最初は全くその気がないみたいで、娘たちと私で「お願い！」と頼み込む感じでした。

(ご主人様)多数決で(笑)

—会話ができないという時期もありましたね。

病氣直後を知っている人は、今の状態を見て「奇跡」と言います。自分の名前も私のこともわからないうい状態から、普通に会話できるようになりました。主人が自棄になつてリハビリを投げ出さなかつたからでしょう。私も娘たちも、主人に元気になってほしいという一心で頑張りました。病氣をする前に比べ、確実に家族の絆は強くなりましたね。亭主閑白から力カア天下へ変わりました(笑)。これからは家族や遊びに来てくださる方々と豊かなコミュニケーションをとっていきたくと思っています。

—夫婦円満の秘訣は？とお聞きすると、お二人で見つめあいながら「仲良いですかねえ」と照れた笑顔が返ってきました。ありがとうございました。

高い防水性能と多彩な機能。世界初の防水型オーダーメイド補聴器

安心の防水性能

JIS規格(JISC 0920:2003)による防水等級(第2記号)「4級」飛沫に対する保護に相当する、水に強い補聴器です。

いつでも清潔装用

「洗える補聴器」です。耳あかや汗を洗い流すことができるので、常に清潔な状態でお使いいただけます。

聞きやすさが向上

周囲の騒音を効果的に低減する「ノイズリダクション」、ハウリング(ピーピー音)を抑える「ハウリングキャンセラー」搭載。

電池交換お知らせアラーム

電池交換時期を音でお知らせします。

おまかせ回路

リオネットだけ!

電池をどちら向きに入れても正しく作動するリオネット補聴器だけの便利な機能です。

携帯電話ノイズ対策

携帯電話の機種にかかわらず、会話の妨げになるような大きなノイズが入りません。



私も使っています!
プロボディーポーター
甲地由美恵プロ

話そう。楽しもう。人生を。

防水型オーダーメイド補聴器
HI-G4WU





販売店協会のブースで
大活躍の Mascot
『ロロくん』

車椅子の
おもちゃたち



4月16日(木)から18日(土)まで、インテックス大阪にて総合福祉展『バリアフリー2009』が行われました。15回目の今回は、9万人を超える入場者で賑わいました。

リオネットセンターが加盟している、有限責任中間法人日本補聴器販売協会も出展し、補聴器クイズを行うなど、補聴器や聴こえについてアピールしました。参加していたいただいたお客様には、私達が推進している「補聴器の対面販売」や「認定補聴器技能者による補聴器の調整」などがご理解いただけただけではないかと思えます。

会場には車椅子をモチーフに作られたおもちゃや、介護用のベツドなど、さまざまな商品が展示され、また、会場には車椅子に乗った方の視線を体験できるコーナーも設置。新しい発見も多かったようです。

毎年行われている展示会ですので、興味のある方は来年のぞいてみられてはいかがでしょうか？

レポート



新人研修

5月9日・10日の2日間、福岡県宗像市にあるグローバルアリーナで新人研修を行いました。お客様にご満足いただける接客技術を習得すべく、各店舗から12名の新人が集まりました。

同僚の接客を視たり、自分の接客をビデオに撮ることで、客観的に自分の欠点を把握し、改善に努めました。

リオネットセンターでは、このような研修を繰り返して行くことで、お客様に安心してご利用いただける店舗を目指してまいります。



補聴器の日

6月6日は補聴器の日です。今年にはリオネットセンターの店頭で、日本補聴器販売協会のロゴが入ったボールペン(山口地区)と花の種(九州地区)を配布しました。

●補聴器豆知識●
長崎の出島にある蘭学館で、江戸時代の絵師「司馬江漢」が書いた引札(チラシ広告)に載っている「耳鏡」を見つけました。出島に行かれた際はチラリと寄られては？



蘭学館の耳鏡

司馬江漢の引札

補聴器無料点検フェアを行いました

5月25日～6月13日まで、各リオネットセンターでは、補聴器の日フェアを行いました。

お店では、補聴器の無料点検を行うほか、自宅でのお手入れに最適な『クリーンmini』を定額給付金応援価格でご案内し、おかげさまで多くのお客様にご来店いただきました。ありがとうございました。

この季節は汗や湿気で、補聴器の調子が悪くなることも多く、こまめなお手入れをおすすめ致します。お近くのリオネットセンターへお気軽にお越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



周年フェアを行いました

25周年(移転1周年) 黒崎店

おかげさまで、黒崎店は25周年(移転1周年)を、飯塚店は15周年を迎えることができました。

2店舗では、お客様のご愛顧に感謝して、5月25日から～6月13日まで『周年フェア』を行いました。たくさんのお客様にご来店いただきました。ありがとうございました。



①お店のパソコンから商品管理課へ注文



②商品管理課で注文を確認

リオネットセンターに商品が届くまで

お客様から補聴器などのご注文をいただくと、リオネットセンターでは、お店のパソコンから欲しい商品を発注します。注文を確認し、各店舗へ発送しているのが商品管理課という部署です。

商品管理課では、ミリ単位の小さな部品から機器類まで取扱っているため、月末の棚卸は大変！間違いのないよう、細心の注意をはらいながらリオネットセンターへ発送し、お客様の元へ大事な商品をお届けしています。



③倉庫から注文品を出します



④梱包してリオネットセンターへ

注文から発送まで

お客様の声

「りおめ〜る」はお客様とリオネットセンターを結ぶ架け橋です。お客様からのご意見・ご要望・作品を募集しています。

□お店の雰囲気もとても感じが良く、販売員の方達も接客態度が低姿勢で対応しており、とても感じが良いです。いつ行っても満足しております。(北九州市 S・K様)

□いつも笑顔で迎えてくださいます。今回は使用している父が入院のため、娘の私がお店へクリーニングングに伺いました。私の知らない父の生活の様子を店員の方からお聞きし、微笑ましく感じました。ありがとうございました。(福岡市 E・M様)

□2ヶ月に1回位電車で検査してもらいに行っております。店長さんが笑顔でとても親切なので、店長さんの居られる日を電話で聞いて行っております。(筑紫野市 U・H様)

□買ったばかりなのでまだまだ自信はありませんが、雑音は入らないし、少しずつ頑張って自分の耳にしたいと思えます。(飯塚市 K・S様)

□20代から40年間リオネットのお世話話になっております。リオネット無しでは暮らせません。これからも難聴者のために頑張ってください。(福岡市 T・Y様)

お客様作品展



玄関で客人を出迎える大きな虎。リオネットセンター熊本のお客様、大鶴謙輔さんのご自宅には、立派な水墨画がたくさん飾られています。それもそのはず、大鶴さんは『大鶴天来』という名で活躍される画家なのです。

同じく画家であったお父様の影響で3歳から絵を書き始め、20代前半で初めて展覧会を開いたとのこと。今でも年に3回の展覧会は欠かさず開催されています。

約30名のお弟子さんにご自宅で教えるほか、役場や公民館で、一般の方に水墨画のすばらしさを教えていらっしゃいます。

1点にかかる時間は、小さくて2～3時間、大きいものになると1ヶ月はかかるそうです。

ケアハウスや温泉宿などからの依頼は大きいものも多く、なかでも一番のお気に入り、雲仙の九州ホテル向けに創作した横3m×縦2mの作品だそうです。

今年の展覧会は7月6日からKKRホテルにて行われます。迫力のある大鶴さんの水墨画をぜひご覧ください。



つづきさんとのお話

山口・九州に25店、安心と信頼のネットワーク リオネットセンター



0120-79-1133
http://www.krion.co.jp/
http://e-mimi.jp/